



あむーる

9月号



編集： 八幡成人（やわたしげと）

「チーム八ちゃん」ホームページ：<https://teamhacchan.wordpress.com/>

数字の向こうに新たな動きが...

●数字の向こうから見える国立大学の姿を考えてみてもらいたい。下の表からどんなことが読み取れるだろうか？この表から国立大学の新しい動きをうかがい知ることができる。自分でいろいろと読み取ってみよう。幾つかのヒントは下に挙げておいた。



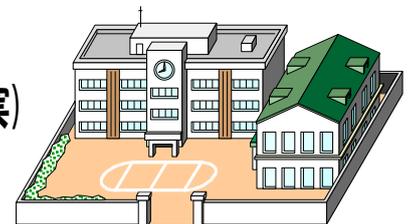
どんなことが読み取れるだろう？

大学名	海外へ留学する学生数	教員1人当たり学生数	外国人留学生比率(%)	女子学生の比率(%)	退学率(%)	留年率(%)	1年次退学率(%)	1人当たりの奨学金平均額	
旧帝大系	北海道大学	1373	4.83	0.94	29.01	1.50	11.0	0.10	204,000
	東北大学		3.45	1.88	26.43	1.50	13.10	0.40	384,000
	東京大学	1871	3.64	3.29	19.47	0.50	23.60	0.00	421,000
	名古屋大学		4.12	3.13	30.50	1.20	11.60	0.30	439,000
	京都大学	2209	3.89	1.83	22.71	1.20	20.60	0.50	216,000
	大阪大学	1521	4.67	2.39	34.15	2.10	23.70	0.60	397,000
	九州大学	1407	4.84	1.62	28.58	1.90	11.60	0.30	178,000
旧官立大系	神戸大学		7.33	0.96	36.38	3.40	17.00	2.00	298,000
	広島大学	774	6.49	2.87	37.03	2.60	11.40	0.80	1,192,000
	岡山大学		6.87	1.91	40.93	2.50	11.10	0.60	254,000

*空欄は非公表あるいは確認・確定できず

<例>

- 女子学生の比率は地方国立大学の方が多い。
- 神戸大学の退学率/1年次の退学率が異様に高い。(これが1割を超える大学は異常)
- 広島大学の一人当たりの奨学金支給平均額が図抜けて高い。(大学独自の給付型奨学金の充実)
- 教員1人当たりの学生数は旧帝大が少なく充実している。私大はこれが異様に高い。
- 留年率が高い大学は超トップ校？



★興味のある人は木村誠『地方国立大学』の時代』(中公新書ラクレ)を読みたい。

竹内まりや40年

「竹内まりや Music & Life ～40年をめぐる旅～ 完全版」が、9月7日(土)にNHKBSプレミアム午後9:00～10:30に放送されました。まさに永久保存版です！これを見れば、竹内まりやさんの代表曲を見ることができる、今年3月「11年ぶりのTV出演」で大きな反響を巻き起こした特番の「完全版」です。「シングル・アゲイン」「告白」の未公開ライブ映像を、初公開していたのが、目玉でした。

40周年を迎え、大きな注目を集めている竹内まりやさん。昨年公開のライブドキュメンタリー映画で「芸術選奨」を受賞し、ディズニー映画『タンポ』では日本版エンド・ソングを担当。さらに1984年発表の「プラスチック・ラブ」が、海外を中心に驚異的な動画再生数を記録し世界的に注目される中、2014年に発売されたオリジナル・アルバム『TRAD』以来、約5年ぶり、通算18作目となるニューアルバム、『Turntable』（3枚組）を発売されました。私はすぐに買いに走っています。

11年ぶりのTV出演となった3月26日放送の「竹内まりや Music&Life」では、スウェーデンでのレコーディング密着や、貴重なロングインタビューが実現。40年を振り返る言葉と、今も音楽に向きあい続ける真摯な姿が話題を呼びました。中でも初めて語られた、楽曲提供で深い交流のあったアイドル、故・岡田有希子さんへの想いは大きな反響を巻き起こし、また夫でありプロデューサーの山下達郎さんによる楽曲解説や、実に38年ぶりとなるTVスタジオ歌唱「いのちの歌」にも大きな注目が集まりましたね。

今回は「40年をひもとく、珠玉の40曲」というテーマで、これまで生み出された代表曲が紹介されました。NHKに残る貴重映像の「不思議なピーチパイ」をはじめ、過去3回しか行われていないライブツアー映像から「元気を出して」「マンハッタン・キス」「人生の扉」などをノーカットで。さらに、これまで全く公開されなかった「シングル・アゲイン」「告白」のライブ映像を、この番組で初めて公開しました。その他、「September」「駅」「カムフラージュ」「真夜中のナイチンゲール」「毎日がスペシャル」「すてきなホリデイ」「Forever Friends」「純愛ラブソディ」など彼女の名曲の数々が放送されました。

竹内まりやさんと山下達郎さんが、ホームグラウンドとするスタジオに初めてTVカメラが入った場面に加え、カンツォーネのイタリア語指導で招いた親友の漫画家・ヤマザキマリさんと丁々発止のやりとりが繰り広げられるレコーディング風景など、普段なかなか見ることのできない“素”の部分が垣間見える、充実の内容となっていました。

竹内まりやの40年！キラキラしたポップソングから、大人の切ない恋の歌、そして、人生を深く見つめた歌まで、それぞれの人生のステージで、人々の胸に響く多彩な名曲を生み出してきた竹内まりやさん。その音楽の世界と、音楽とともに歩んだ人生に迫る、“永久保存版”の90分でした。しっかりと録画しておきました。時間を置いてまた見てみたい内容でした。

生家は出雲大社の正門前に位置する老舗旅館『竹野家』で、六人兄弟の三女として生まれました。世界で通じるようにとの父の考えから「まりや」と名付けられています。高等学校在学中に、「AFS交換留学制度」によりアメリカ・イリノイ州のロックフォールズ・タウンシップ・ハイスクールに留学後、慶應義塾大学の英文学科へ進学しておられます。高校時代にこの留学の大押しをされたのが、担任だった南場俊一(なんばしゅんいち)先生でした。そのときを振り返って、竹内さんは大社高校の同窓会誌に思い出を語っておられます。教師の一言で人生が変わることもあるんだ、という好例です。南場先生は数学の指導者としても、また自転車競技でも生徒を日本一に導くなど、一流の指導者であられました。私は島根県立大田高等学校で教頭だった南場先生に、進路指導のイロハをたたき込んでいただきました。情熱の塊のような先生でした。

テレビに出ることもない、コンサートをやるのでもない、たま～にアルバムを出すだけでも、これだけの注目を集める竹内まりやさん。すごいアーティストだと思います。♥♥♥

~~~~~  
 たくさんの優しい仲間達に出会い、理解ある先生方と出会い、自分の目指す未来にまっすぐ立ち向かえたのは何という幸運だったのでしょうか。二年生の担任で数学を教わっていた南場俊一先生が、「竹内、お前は数学の才能はないけど、英語ができるから絶対にアメリカへ行け。数学は俺が何とかしてやるから留学試験を受けてみる。」と声をかけて下さった事です。あの言葉によって、私はかねてからの夢だった留学を果たし、その後の人生を大きく左右するような豊富な体験を得て、再び大社高校へと戻ったのでした。

頑張れば出来るという事を身を以て経験した結果、大学受験も、大好きな音楽を職業にする事も同じようなやり方で突き進んできたように思います。今さらながら、私の数々の夢を育んでくれた母校に感謝すると共に、願わくば我が娘の高校生活もそんな実り多い日たらんことを、と祈らずにはられません。学級崩壊だとか高校生による犯罪がやけに目を引く今日この頃ではありますが、性善説を信じる私は、いつの時代も若者たちは自分の良き可能性を見つけたいと切望しているはずだと思っていますし、またそうできる世の中であってほしいと願っています。私の歌う歌が、たとえほんの少しでも彼らの明るい夢を育てるためにお役に立つのならこんな嬉しいことはありません。これからも私は、気持ちだけはあの頃のまま歌い続けていこうと思っています。

—「いなさかい」第29号(大社高校同窓会誌)より

~~~~~  
 ●竹内まりやさんの300曲以上の曲の中で、八幡が一番好きなのは彼女が中森明菜さんに提供した「駅」という歌です。詩を読むだけで情景がまざまざと浮かんでくるのが堪りません。

駅

作詞・作曲 竹内まりや

見覚えのあるレインコート
 黄昏の駅で 胸が震えた
 はやい足取り まぎれもなく
 昔 愛してた あの人なのね
 懐かしさの一步手前で
 こみ上げる 苦い思い出に
 言葉がとても 見つからないわ
 あなたがいなくてもこうして
 元気で暮らしていることを
 さりげなく つげかけたのに。



二年の時が 変えたものは
 彼のまなざしと 私のこの髪
 それぞれに待つ 人のもとへ
 戻ってゆくのね 気づきもせずに
 ひとつ隣の車両に乗り
 うつむく横顔 見ていたら
 思わず涙 あふれてきそう
 今になってあなたの 気持ち
 初めてわかるの 痛いほど
 私だけ 愛していたことも

ラッシュの人波に
 のまれて消えていく
 後ろ姿が やけに哀しく
 心に残る
 改札口を出る頃には
 雨もやみみかけたこの街に
 ありふれた夜がやって来る
 ララララ ラララララ.....

